Panaracer

Q1 MTB・XC用のドライ用とマッド用のちがいは？

A1 大きくちがうポイントはトレッドパターンです。MTBタイヤは、使用されるコンディションに応じたトレッドパターンの設計がなされていますので、ドライ用タイヤは乾いた硬い路面等で走りが軽くなるセミスリックのようなデザインに、マッド用は泥の中でのグリップ力や泥詰まりに配慮し、ノブが高くノブの間隔が開いたデザインになっています。

Q2 MTBで雨の日にパンクが多いのはなぜですか？

A2 雨の日は必然的に走行スピードが落ちるのでパンクしなくなると思われがちですが、実はそうでもありません。
雨がコース表面の土を流してしまうので、それまで埋もれていた岩などが顔を出し、これでパンクするケースが結構あります。

Q3 チューブレスタイヤを通常のリムで使用することは可能ですか？

A3 メーカーによって異なります。チューブレスタイヤは内圧を保持するためにマビック社USTホイールに準拠した特殊なビード形状（リムと接する部分）をしています。従来は通常のリムでは使えませんでしたが、最近では通常リムでも使用可能なチューブレスタイヤが発売されています。ただし、当然ながら通常リムではチューブを併用しなければなりません。
また、チューブレスタイヤは構造上、タイヤサイドに空気保持のためのゴム層を設けているために通常リム専用のタイヤよりも重量が重いのが欠点です。
あえて通常リムにチューブレスタイヤを選択するには、重量がハンディになることを前もって知っておく必要があるでしょう。

Q4 チューブレスタイヤの装着・脱着のコツってあるのでしょうか？

A4 あります。チューブレス用リムは、空気を保持するためのハンプ（マウント部）が設けられた特殊な形状となっておりますので、ちょっとしたコツを知っておくだけではめ外しが楽になります。ポイントとなる作業手順は、「チューブレスタイヤ取扱説明書」をご参考ください。

Q5 チューブレスタイヤのメリットは何ですか？

A5 チューブレスタイヤは、チューブを内蔵しないことで、路面との接地面がよりフレキシブルに働き「路面追従性」が向上します。
また、穴が開きやすいチューブがないのでリム打ちパンクにも強くなります。（ただし、タイヤに穴が開くこともありますのでパンクしないわけではありません。）
結果として低圧での走行が可能となり、衝撃吸収性も良くなるわけです。

Q6 「チューブレスタイヤリペアキット」を使用する際の注意点はありますか？

A6 取扱い説明書の手順を守って頂くことが大切なのですが、その中でもゴムのりの扱い方が重要ポイントです。
ゴムのりは、パンク穴をふさぐゴムピースを固定する接着剤としての役割はもちろん、ゴムピースをパンク穴に打ち込みやすくする為の潤滑剤としての役割も担っています。この作業を容易にする為に、ゴムピースの表裏に充分な量を塗ることと、乾燥させないことが重要です。
ゴムのりは気温だけではなく風の影響でも乾きますので、風が当たってゴムのりが乾くのを防ぐ工夫をしてください。
またゴムのりが充分でも、パンク穴が小さい時などには、事前に付属の針をパンク穴に1回通してゴムピースの通りを良くしておかないと、ゴムピースが途中で切れる場合があり、特に注意が必要です。
あと、ゴムピースをパンク穴に打ち込み再度引き戻す時に、ゆっくりと作業を行なってください。強く引っ張ると、中でゴムピースが切れてしまいます。

Q7 MTBで山を走る時、空気圧は極力低目の方が楽なんでしょうか？

A7 いいえ、そうとは限りません。衝撃吸収性を高めるために空気圧を低目に設定するのは良い方法ですが、低過ぎますと、タイヤが剛性不足となってコーナーリング時によれてしまったり、走りが重くなってしまいます。
さらに、空気圧を下げれば下げるほどリム打ちパンクの危険性が高くなり注意が必要となります。

Q8 米式バルブ用リムを使っていますが、仏式バルブのチューブをそのまま使っても大丈夫ですか？

A8 NTスペーサーをご使用ください。NTスペーサーは、米・英式用の大きな穴を仏式用の小さな穴に変換するものです。
NTスペーサーを使用しないと、仏式バルブの根本部分がリムの大きな穴のために傷んでしまいます。

Q9 2.10サイズのタイヤを使用しています。軽量化のため1.50サイズ用のチューブを使用しても大丈夫でしょうか？

A9 お勧め致しません。タイヤの中に収めることは可能であっても、空気を入れるとチューブが異常な伸びを起こし、その影響でパンクを引き起こす可能性があります。軽量化には使用可能サイズでの軽量チューブをご使用ください。

Q10 1.50サイズのタイヤに1.75サイズ用チューブを使用して問題ないのでしょうか？

A10 問題があります。無理やりチューブを詰め込む感じとなりチューブがタイヤの中で折れ曲がってしまいます。
この状態で空気を入れるとチューブが損傷しバーストの原因となり危険です。

パナレーサー株式会社
〒669-3464 兵庫県丹波市氷上町石生250
お客様相談室 TEL:0795-82-6806（通話料有料）
受付時間 9:00～17:00 ※土日祝日を除く

Q11 太いタイヤに交換したら、タイヤがブレーキのシューに引っかかりホイールをセットできなくなりました。

A11 一度空気を抜いてからホイールをセットし、セットし終わってから空気を入れるようにしてください。
尚、タイヤのサイズが変わるとブレーキシューがタイヤのサイド部にこすれるケースがありますので、必ず確認してください。

Q12 レース用のブロックタイヤで、前輪と後輪の装着指定方向が違うタイヤがありますがどうしてですか？

A12 走行性能を高めるためです。前輪の場合は操舵性能を、後輪の場合は駆動性能高くなるようにノブの形状が設計されています。

Q13 オフロード用タイヤの摩耗の程度は何によって変わってくるのですか？

A13 オフロード用タイヤの場合、トレッドパターンやコンパウンドにも左右されますが、
使用条件や走行路面など多岐に渡る走行シチュエーションの影響にも左右されます。
例えば、岩場が多ければブロックの削れが酷くなりますし、ブレーキングがハードになればブロックの傷みも酷くなります。
また、同じ種類のタイヤでもサイズによって摩耗程度は変化し、太いタイヤならば摩耗は少なくなりますが、
細いタイヤではブロックが小さくなる傾向があり摩耗は早くなってしまいます。
商品設計的には、レーシングタイヤには耐久性よりも転がり抵抗の低減やグリップ力の向上を重視したコンパウンドが使用されるケースが多いようです。

パナレーサー株式会社
〒669-3464 兵庫県丹波市氷上町石生250
お客様相談室 TEL:0795-82-6806(通話料有料)
受付時間 9:00～17:00 ※土日祝日を除く